

経営側の誤った認識を指摘!



第2回集団交渉

3月15日、関西生コン関連労働組合連合会は学館館・関生で大阪兵庫生コン経営者会との第2回目の集団交渉を開催。今回の集交では、「厳しい経営環境」を強調する経営側に対して労働側が反論。労使の協力によって業界再建の成果が得られつつあることを指摘し、要求に対する誠実な回答を求めた。

厳しい経営環境を強調する経営側

この日は、具体的な要求についての労使による討論が行われた。

経営者会・藤中会長は「ここ数年、連続して1万円の賃上げを実施し、年間一時金は138万円を基準に是正を行い先行投資をしてきた」と説明。昨年4月に広域協組が13,800円を打ち出して一定の成果を得ているものの、出荷量の増加は思ったほどではなく、「現時点では出血が止まり、傷口にかさぶたができたようなもの」と各社の経営状況を訴えた。

経営環境は確実に改善労働者をあざむくな!

これに対して労働側は『先行投資』という言葉は昨年までの賃上げを否定するものであり、出荷量についての説明も『数字のごまかし』だと厳しく指摘した。



業界再建の恩恵、適正に配分を!

2015年10月、大阪地区の大同団結が実現する以前、広域協組(7社)が約200万m³、阪神協組・レディ協組の約35社が約200万m³の出荷量で輸送の運賃値上げが優先されるべきと主張。「運賃引き上げが全く議論されていないという事は、バラ専と生コン輸送の協業化を否定することである。協同組合の基本理念は競争の抑制。コストの不均衡は競争につながらず」として運賃引き上げ要求に対して誠実に回答するよう強く求めた。(2面へ)

交渉での労側提起

- ① 正社員比率を100%に近づけるために人員補充を実施する
- ② 直系社を早急に経営者に再加入させる
- ③ 旧神戸協加盟全社を経営者に加入させる
- ④ 生コン輸送・バラ輸送運賃を引き上げる
- ⑤ 連合会と労使関係のある企業の集交への参加
これらは今春闘でどうしても重点課題だ。残る2回の交渉で経営側にしっかりと回答を出させよう!

関西生コン関連労働組合連合会

(生コン産労・全港湾大阪支部・近圧労組・大阪市西区川口2-4-28 建交労関西支部・U Aゼンセン・関生支部) Tel.06(6583)5546

17春闘共同ニュース

2017年
3月18日号

直系社を経営者会に結集させよう

労使の約束事項を
誠実に履行せよ！

話をしているところであり、も
う少し時間がほしい」と回答す
るにとどまった。

ただ乗りを許さず
経営者会へ加入を

また、神戸協組加盟社の広
域協組への加入については、
すでに加入申込書が提出さ
れ、3月初めに開催された広
域協組理事会で承認されてい
る。しかし、この間、労使で協
議してきた「神戸ブロックと
しての自治権の確保」「経営者
会への全社加入」「雇用・福祉
基金（100円基金）の拠出」
についてはまだ結論が出てい
ない。

さらに、いまだにセメント
メーカー直系の「弥生会」「如月
会」のメンバーが経営者会に加
入せず、集団交渉にも参加して
いない。これらの企業は、現状
広域協組の値戻し・値上げの
恩恵を受けているにもかかわらず、
全く義務を果たしていないの
だ。こうした「ただ乗り」は
決して許されない。
セメントメーカー直系社は、



2010年には集团的労使関
係を潰そうと経営者会から集
団脱退。その責任すらとってい
ないのが現状である。
労働側はこれについて鋭く
追及し、経営者会・集団交渉へ
の参加を実現するために労組
連合会としての行動も辞さな
いと通告。これに対して経営者
会・藤中会長は「再度、経営者
会として要請するのでその間



正社員の比率 5割は 昨春闘の結果！



経営者会側からの「正社
員の比率を5割に近づける
ために調整を行っている」
などの発言に対して労組側
は、正社員の比率を5割す
ることは昨年の春闘で確認
されていることであると指
摘したうえで、「今春闘で
10割に近づける」と発言
した。